まつばらピアセンター（障害者等相談支援事業）

マッピー通信

社会福祉法人　松原市社会福祉協議会
〒580 - 0043　松原市阿保 1 - 1 - 1
松原市役所 東別館 1 階
TEL : 072 - 337 - 7333　FAX : 072 - 335 - 1294
E - mail : mp-daihyo@matsubarashakyo.net
URL : http://www.matsubarashakyo.net

いい汗かいたよ！ タオル体操で身体も心も軽やかに！

まつばらピアセンターでは、障がいのある人が集う場としてサロンを開催しています。普段は、聴覚・視覚・肢体に分かれ、集まっていますが、６月のピア☆サロン「みんなと楽しくタオルを使って体操しませんか？」では、障がいを分けず、各サロン合同で取り組みました。

楓ジムの空山先生の指導で、タオル体操の動きを覚え、「野に咲く花のように」の曲に合わせて行いました。○×クイズは、筋トレなどに関する内容で、豆知識も学べました。「自宅でも体操を続けたい」などの感想が聞かれ、“30 年ぶりに同級生に会った”という方もおられました。運動の大切さを実感し、人との交流で心も軽くなりました。

（まつばらピアセンター担当　吉川）

令和６年４月から
障がい者への合理的配慮の提供が民間も義務化に!!

平成 28 年４月にスタートした「障害者差別解消法」は、国・市町村といった行政機関、会社・お店などの民間事業者が、「障がいを理由とする差別」をなくすための措置を定め、それを実施することで、障がいのある人もない人も分け隔てなく共に生きる社会をつくることを目指しています。

民間事業者の「合理的配慮の提供」について、現在は「努力義務」となっていますが、障害者差別解消法の一部改正に伴い、令和 ６年４月１日から「義務」となります。

合理的配慮とは　障がいのある人から何らかの配慮を求める意思があった場合には、負担が重すぎない範囲で必要な対応を行うこと。

合理的配慮がなされていない例

- 盲導犬とレストランへ行ったが、「犬は外で待たせておいて」と言われた。
- 聴覚障がい者が、スポーツジムで筆談してもらえず、詳しい内容が分からなかった。

この改正によって、障がいのある人もない人も、平等に生きられる社会になるよう願っています。

（視覚障がいピアカウンセラー　大西）

◎ 視覚障がい者サロン ◎毎月第 1 木曜日 13:30～15:30

☆朗読会「えんとつ町のプペル」

長編絵本『えんとつ町のプペル』の映像をスクリーンに映し出し、音楽に合わせて朗読をする『えんとつ町のプペル』朗読会。
ゴミから生まれたゴミ人間プペルと少年ルビッチの心温まる物語です。

◆日　時　　１０月５日（木）１３：３０～１５：３０
◆会　場　　松原市総合福祉会館　２階　集会室
◆講　師　　石丸（いしまる）　香子（きょうこ）氏

☆手作りアロマで香りを楽しむ

アロマセラピーについてのお話を聞きながら、身体の疲れを癒すアロマケアクリームを作ります。お好みの香りに包まれてリラックスしましょう♪

◆日　時　　１１月２日（木）１３：３０～１５：３０
◆会　場　　松原市総合福祉会館　２階　集会室
◆講　師　　木田（きだ）　織香（りか）氏
◆内　容　　肩こりや足のむくみなど、お悩みに合わせたアロマケアクリームを作ります。
◆費　用　　材料費　５００円
◆定　員　　１２名
◆申込締切　１０月２４日（火）

（視覚障がいピアカウンセラー　大西）

◎ 肢体障がい者サロン ◎毎月第 2 火曜日 13:30～15:00

☆外出企画　大阪くらしの今昔館

江戸時代の大阪にタイムスリップ。大阪の一昔前の生活を再現した空間やジオラマなどを通して、今とは一味違った大阪を再発見しよう。

◆日　時　　１０月１９日（木）１３：３０～１５：００
　　１２：３０阿部野橋駅改札前集合
◆行　先　　大阪市立住まいのミュージアム 大阪くらしの今昔館
◆対　象　　市内在住の肢体障がい者及びその関係者
◆定　員　　２０名
◆費　用　　交通費、入場無料（障がい者手帳提示）
◆申込締切　１０月１０日（火）

写真大阪くらしの今昔館 HP より引用

☆特別企画　みんなで「ディスコン」に挑戦！

ルールからゲームの流れまで、松原市ディスコン協会の方に教えていただきます。

◆日　時　　１２月１２日（火）１３：３０～１５：３０（受付１３：００）
◆会　場　　松原市総合福祉会館　２階　集会室
◆講　師　　松原市ディスコン協会
　　“まっ com”（生涯学習人材バンク）
◆対　象　　市内在住の肢体障がい者及びその関係者
◆定　員　　２０名
◆申込締切　１２月５日（火）

イラスト愛媛新聞 ONLINE より引用

☆こころのピア・カウンセリング講座

こころとからだの健康を大切にしよう。今年も山浦孝臣（やまうらたかおみ）氏を講師としてお迎えして、ピアカン講座を開催します。みんなで心を開放して交流しましょう。

◆日　時　　令和６年２月１３日（火）
　　１３：３０～１５：３０　受付１３：００
◆会　場　　松原市総合福祉会館　３階　会議室
◆講　師　　障がい者福祉総合支援センターいちいちまる
　　ピアカウンセラー　山浦（やまうら） 孝臣（たかおみ） 氏
◆対　象　　市内在住の肢体障がい者及びその関係者
◆定　員　　２０名（当日参加も可）

（肢体障がいピアカウンセラー　坂野）

◎ 聴覚障がい者サロン　◎毎月第 1 水曜日 13:30～15:30

☆パン作りを楽しもう

３年前に、新型コロナウイルス感染防止のため、中止していたパン作りが、やっと実現することになりました。みんなで楽しくパン作りを体験してみませんか？

◆日　時　　１０月４日（水）１３：００～１５：３０（予定）
◆会　場　　まつばらテラス（輝）　２階　調理室
◆講　師　　山田（やまだ） 順子（じゅんこ） 氏（聞こえる人、少し手話ができます）
◆対　象　　市内在住の聴覚障がい者及び手話関係者
◆定　員　　１０名
◆費　用　　材料費　４００円
◆持ち物　　エプロン、タオル、筆記用具、持ち帰り用の袋
◆申込締切　９月２７日（水）（ただし、定員に満たない場合は受付けます。）

↓さんさん山城の申し込み

☆外出企画！！「さんさん山城」で農業体験に行こう

２０１１年に開所して以来、農業と福祉が結びつき、地域とのつながりを大事にしてこられた京都の聴覚障がい者の就労継続支援Ｂ型施設「さんさん山城」があります。そこで、聴覚障がい者の利用者は農業、菓子加工、カフェなどの作業をしています。昼食にその利用者が作った野菜を使った料理を味わい、収穫のミニ体験をします。一緒に楽しみましょう。

◆日　時　　１１月１日（水）１０：３０～１６：３０
◆行　先　　「さんさん山城」（京都府京田辺市）
◆内　容　　昼食（さんさん山城で穫れた野菜）・えびいも収穫体験（予定）
◆対　象　　市内在住の聴覚障がい者及び手話関係者
◆定　員　　１５名
◆費　用　　昼食代　５００円
◆申込締切　１０月２５日（水）

（聴覚障がいピアカウンセラー　伊藤）

2面、3面の各サロンの申込みや問合せは、下記までよろしくお願いします。
まつばらピアセンター　TEL　072－337－7333　　FAX　072－335－1294

★まつばらピアセンターについて★

松原市にお住まいの、障がいのある方とその家族の身近な相談窓口です。

支 援 内 容
①ホームヘルパーやデイサービス、ショートステイなどの利用援助
②社会資源を活用するための支援　③社会生活力を高めるための支援
④ピア・カウンセリング　⑤権利の擁護のために必要な援助
⑥専門機関の紹介　**みなさんが地域で自分らしく生活できるようお手伝いします！**

↓相談内容・日時 ※相談は無料。自宅へ訪問もします。プライバシー・秘密は守ります。
まずは、電話・ＦＡＸなどでご連絡ください。祝日・12/29～1/3は休み

福祉相談	社会福祉の相談員が生活全般に関する相談をお聴きします。	担当　吉川 mp-daihyo@matsubarashakyo.net	月～金曜日 9:00～17:30
ピア・カウンセリング	障がいのあるピアカウンセラー(相談員)が、みなさんの思い・悩み・やりたいことなどを、仲間としてお聴きします。	聴覚障がい担当　ﾋﾟｱｶｳﾝｾﾗｰ伊藤 mp-chokakupeer@matsubarashakyo.net 手話通訳者　永田	月　10:00～17:00 水　10:00～17:00
		視覚障がい担当　ﾋﾟｱｶｳﾝｾﾗｰ大西 mp-shikakupeer@matsubarashakyo.net	月　9:00～17:00 火　9:00～17:00 木　9:00～17:00
		肢体障がい担当　ﾋﾟｱｶｳﾝｾﾗｰ坂野 mp-shitaipeer@matsubarashakyo.net	火　10:00～15:00 水　10:00～15:00

連絡先：ＴＥＬ　072・337・7333　　ＦＡＸ　072・335-1294（いいふくし）

「マッピー通信」の点字版・デイジー版をご希望の方は、まつばらピアセンターまでご連絡ください。

・たくさんの人に知ってほしい！協力してほしい！など、読者の皆さんからの投稿もお待ちしています。
（営利目的、宗教、政党活動に関するものについては掲載できません。また、紙面の都合上掲載できない場合があります。）

<マッピーの声>

丸３年間、続いた新型コロナウイルス感染症も峠を越えつつあり、外出も比較的、安心してできるようになってきました。僕も３年ぶりの外出を楽しんでいる一人なのですが、その中でしみじみと感じるのが、人のやさしさです。

駅などで「エレベーターのボタン、押しましょうか？」「大丈夫ですか？」といった声をかけてくれるなど、以前までは、よくある光景の一つにしか思えていませんでしたが、そうではないんですよね。３年間、自由に外出ができない状態から解放されたことで、余計にそう感じるのかもしれません。

先日は、僕が人混みで、車いすで通りづらい時に、観光に来ていた外国人の女性の方が、「Excuse me（すいません）」と、周囲の人に、大きな声で言ってくれました。国は違っても、人の思いは同じなんだと何とも言えない気持ちになりました。このさりげない一言。人との交流、やさしさっていいものですね。

（肢体障がいピアカウンセラー　坂野）